

柏崎刈羽原子力発電所における原子力防災訓練（再訓練）実施計画書

2021年5月31日
東京電力ホールディングス株式会社

1. 訓練目的、達成目標、検証項目

(1) 訓練目的

2021年3月12日に実施した、2020年度柏崎刈羽原子力発電所における原子力防災訓練結果より抽出された課題について、検討・実施した改善策が有効に機能していることを確認する。特に、「情報共有の仕組み」と「官庁との連絡体制」について、取り組んだ改善の方向性が規制庁の期待する方向性と相違ないことを確認する。

(2) 達成目標

ERCプラント班との情報共有における改善事項を踏まえて、発電所—本社—ERC間での情報共有が、適切に行われることを確認する。

(3) 検証項目

- a. 発電所および本社は、見直しを実施したCOPに適切な情報を入力することで発電所の現在の状況、復旧戦略、戦術を示すことが出来ること。【発電所、本社】
- b. 本社は、見直しを実施したCOPを用いて、ERCプラント班に簡潔な説明ができること。【本社】
- c. 発電所は、25条報告を様式に従った内容で通報連絡できること。【発電所】

2. 訓練日時及び対象施設

(1) 実施日時

2021年6月11日（金）13:10～16:00（反省会含む）

(2) 対象施設

- ① 柏崎刈羽原子力発電所 1～7号機
- ② 本社本部（後方支援拠点の実働を除く）
- ③ 新潟本部
- ④ 柏崎刈羽原子力防災センター

3. 訓練の前提条件

- (1) シナリオは、全訓練プレイヤーに対し非公開とする。（ブラインド訓練：コントローラによる情報付与有り）
- (2) 新型コロナウイルス感染防止対策中における平日の通常勤務時間帯に原子力災害が発生し、原子力災害対策特別措置法（以下、「原災法」という。）第10条及び第15条事象へと進展する。
- (3) 発電所の原子力防災要員は、「第一陣：5号機サービス建屋執務室」、「第二陣：大湊側高台保管場所執務室」、「第三陣：事務本館」にて勤務中想定とする。原災法となった後、5号機原子炉建屋内緊急時対策所へ順次参集する。
- (4) 安全パラメータ表示システム（以下、「SPDS」という。）は、発電所及び本社との情報共有としてSPDS訓練モードを使用し、本社及びERCとの情報共有として緊急時対策支援システム（以下、「ERSS」という。）訓練モードを使用する。（SPDSは運転号機のみ）

(5) 1～6号機は停止中（現状の設備状態）。7号機は運転中（適合炉）とする。

4. 訓練評価

社外評価者及び社内評価者による評価を行う

5. 訓練項目及び検証項目

(1) 本部運営訓練【発電所、本社】

発電所および本社は、見直しを実施したCOPに適切な情報を入力することで発電所の現在の状況、復旧戦略、戦術を示すことが出来ること。【検証項目1. (3) a】

<検証項目>

- a. 発電所は、3の矢まで戦術を立案しCOPに入力する。加えて、DB設備の復旧見込みについても現場の状況を確認次第COPに入力し、発電所の設備状況、復旧戦術を示すことが出来ること。
- b. 本社情報班及び計画班は、発電所の体制が確立するまでの間、発電所が実施する事項（上記a.）を発電所の発話等を確認し実施出来ること。また、情報班は、新たに作成した戦術選択用の簡易ツールを使用し、速やかに復旧戦術を選択出来ること。

(2) ERCプラント班との連携訓練【本社】

本社は見直しを実施したCOPを用いて、ERCプラント班に簡潔な説明が出来ること。【検証項目1. (3) b】

<検証内容>

- a. スピーカは、ERCプラント班に対して、3種類のCOP（プラント系統概要COP：「現状」、重大な局面シート：「進展予測、戦術」、設備状況シート：「戦術の進捗状況」）を説明する内容ごとに使い分け説明出来ること。また、プラント全体を俯瞰して注力すべき点を説明出来ること。
- b. 官庁連絡班パラメータ監視役は、パラメータが変化した場合、その旨を発話しスピーカ含む班内へ共有出来ること。また、スピーカは、パラメータ監視役からの周知を受け、速やかにERCプラント班へ状況の変化を報告出来ること。
- c. 官庁連絡班スピーカを補助する計画班メンバーは、ERCプラント班からの専門性の高い質問に対して、スピーカへ適切に助言が出来ること。加えて、必要によりERCプラント班へ補助説明が出来ること。
- d. 官庁連絡班スピーカは、炉心損傷後のプラント挙動についてERCプラント班へ適切に状況提供が出来ること。
- e. 副本部長は、10条確認会議の中で、最悪なシナリオまで言及した説明が出来ること。

(3) 通報訓練【発電所】

発電所は、25条報告を様式に従った適切な内容で通報連絡できること。【検証項目1.

(3) c】

<検証内容>

- a. 通報班は、25条報告を様式に従った記載とし、特定事象発生プラントの情報とその他のプラント情報が明確に区分し、時系列毎に記載できること。

以上

シナリオ内容のためマスキング

シナリオ内容のためマスキング

シナリオ内容のためマスキング

① 訓練用のERC備付け資料の最新版(13部(官邸用6部、ERC用5部、予備2部)、電子媒体も含む。)

⇒5月24日に最新版へ差し替え済み。なお、電子データについては事前の通信確認時にお持ちします。

②コントローラ(即応センター)の所属、氏名、常時連絡可能な携帯番号

⇒ 個人情報のためマスキング

③リエゾンの所属、氏名、代表者連絡先、入館予定時刻

⇒

○リエゾンについては、プラント対応3名でお願いします。(広報リエゾンは派遣なし)

○所属、氏名、連絡先については以下のとおり

個人情報のためマスキング

○入館時刻は12:40でお願いいたします。

④ERC対応者(即応センター)の所属、氏名

・メインスピーカ

個人情報のためマスキング

・サブスピーカ

個人情報のためマスキング

⑤統合防TV会議システムの接続先。

⇒即応センター1を通常。即応センター2および1F、2F緊対所をシークレットで接続願います。

⑥リエゾンの訓練参加開始時刻。

⇒13:25頃(訓練開始の15分後)でお願いします。

⑦訓練シナリオの確定版の提出

⇒本日の面談結果後、最終版をお送りします。

⑧ERCとの連携開始および連携終了のタイミングおよび、その後、ERCとの振り返りは実施の有無。

⇒訓練開始は 13 : 10 で、終了タイミングについては 15 : 50 頃を予定しています。

また、E R Cとの振り返りですが実施させていただきたいと思います。

⑨13:10の地震に関する想定付与についてのプラント班への配布

⇒プラントの初期条件資料も含め20部配布での準備でよろしいでしょうか？

⑩訓練参加予定人数

⇒発電所：180名（うちコントローラ40名）

即応センター：180名（うちコントローラ20名）

⑪事前の通信確認の実施について下記のとおりご調整のほどよろしくお願いいたします。

⇒6月2日以降で実施させていただきたいと考えております。規制庁さまのご都合をご教授下さい。

また、当日にご対応いただける方の氏名をご教授下さい。

【スケジュール概要】

○FAX通信確認、プリンタの接続確認を並行で実施（15分程度）

※FAX通信確認

柏崎刈羽の外線FAX通信確認

柏崎刈羽の統合防災IPFAX通信確認

○SPD SW e bの通信確認（30程度。プリンタの接続確認が終了次第実施）

以上